

○ 生態系を活用した防災・減災 (Eco-DRR) とは

日本では、長年にわたる治水事業によって、水害リスクが低減されて都市が発展してきました。しかし、気候変動の影響によって、近年自然災害の激甚化・頻発化が進み、これまでの防災や減災対策だけでは対応が難しくなってきました。また、住宅用地や工業用地などの開発のため、ため池・水田等は大きく減少し、治水や生き物に大きな影響を及ぼしています。これらの問題に対処する方法として注目されているのが、自然を効果的に利用して自然災害の防災・減災を行う「Eco-DRR (エコ ディーアールアール)」です。



Eco-DRR のイメージ

環境省 Eco-DRR のイメージ図を編集して作成

Eco-DRR では、森林を守り、湿地や川の自然等を大切にし、里山を維持し、水田などを活用することで、災害のリスクを減らします。こうした取組は、災害を防ぐだけでなく、たくさんの生き物の住む場所も守ることができます。

○ 土岐川・庄内川水系流域治水プロジェクト

愛知県では、東海豪雨での教訓を踏まえ、国、県、市町、企業、住民により庄内川流域で実施する治水対策「土岐川・庄内川水系流域治水プロジェクト」を進めています。



みんながまもる土岐川・庄内川

土岐川・庄内川流域治水
ロゴマーク

このプロジェクトでは、貯留設備の整備や水害リスクを考慮した移住誘導の推進等の直接的な防災対策だけでなく、自然環境の保全・再生や整備における生物の多様な生育環境の保全など、生態系を活用したEco-DRRにも力を入れています。また、小中学校などにおける河川環境学習や住民による水質モニタリング等の活動も展開しています。

こうした活動の継続には、県民一人ひとりが積極的に参加し、協力することが重要です。地元の環境保護活動や防災訓練への参加も、プロジェクトを推進する上で大切な一歩となります。

県民の皆さんには、安全で豊かな地域づくりにご協力をお願いします。

詳細はWebページをご覧ください。

(https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/bousai/ryuiki_chisui_kyougikai/)



環境調査センター 企画情報部
愛知県気候変動適応センター

電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)



適応とは、気候変動の影響に備えること。

愛知県気候変動適応センターだよりのバックナンバーはこちら
<https://www.pref.aichi.jp/site/ailccac/tekiou-dayori.html>

